

2024 年 2 月 7 日

各 位

株式会社八十二銀行

CDP2023（気候変動）における最高ランク「A」の獲得について

八十二銀行（頭取 松下 正樹）は、国際環境非営利団体である CDP による 2023 年の気候変動調査結果において、最高ランクとなる「A」評価を受けました。「A」評価は、国内銀行初となります。

今後も、気候変動への取組みを進め、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

以下に概要をお知らせいたします。

1. CDP 調査について

CDP は、環境への取組を投資判断の基準とする投資家により設立された世界有数の ESG 評価機関です。CDP では毎年、世界主要企業に環境対策に関する取組や、その情報開示等について質問状を送付し、その回答に基づいて評価をしています。

2023 年の調査では、全世界で約 21,000 社が開示し、346 社が「A」評価を獲得しています。なお、日本企業においては 1,984 社が開示し、109 社が「A」評価を獲得しています。

2. CDP2023 における当行評価について

当行では、気候変動に関する同調査に対し毎年回答をしております。2023 年の評価結果は 2022 年の「B」評価から 2 ランク上がり「A」評価となりました。「A」評価は、全 9 ランクの最上位であり、気候変動に取り組む企業として世界的に認められる水準です。

今回の評価は、「中期経営ビジョン 2021」において、サステナビリティを経営の根幹とした取組（CO2 排出量のネット・ゼロ達成など）を進めてきたことが評価されております。



以 上